

いろいろ火の里



みかわ

ざわい



三川りっしょう子ども園 入園式

通園バスにブザー設置

18歳までの医療費無償化

若手農家の声を

英語教室

「人間性」を磨きながら

3月定例会・臨時会 P2～5

予算審査特別委員会 P6～9

一般質問 P10～15

シリーズ⑤
「がんばってます」 P16

No.161
3月議会
2023.
4.15

新しい議会構成で スタート

臨時会

第1回臨時会は2月27日に開会しました。
諸般報告1件の後、専決処分（令和4年度補正予算）2件、議長発議3件が上程され可決されました。

専決処分（補正予算）

- 出産・子育て応援給付金 420万円を追加
- 農村環境改善センター費工事請負費 320万円を追加
- 地域公共交通推進事業 63万円を追加
- 除雪対策費 1842万4千円を追加
- 子育て交流施設費 修繕料 105万円を追加



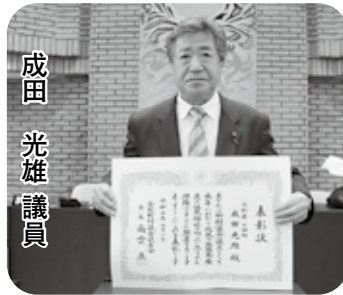
議長発議

- 議長辞職・選挙
- 常任委員会委員の選任
- 議会運営委員会委員の選任

諸般報告

全国町村議会議長会表彰（議員27年以上）

成田 光雄 議員
山形県町村議会議長会表彰（議員23年以上）
佐藤 栄市 議員



成田 光雄 議員



佐藤 栄市 議員



志田 徳久 議長

議長就任の あいさつ

このたび、議長に就任致しました。責任の重さを痛感するとともに、住民福祉向上のため専心努力する所存であります。今年も、いつもより早い春の訪れで農作業など忙しい日々ですが、皆様におかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。

ようやく新型コロナウイルスの規制が緩和されるので、議会活動の状況を直接報告、意見を聴取する議会報告会をはじめ広聴活動に努めますので多数の参加をお願いします。挨拶と致します。

議会構成

議長 志田徳久
副議長 町野昌弘

総務文教常任委員会

委員長 鈴木淳士
副委員長 小野寺正樹
委員 全議員

産業建設厚生常任委員会

委員長 鈴木重行
副委員長 砂田茂
委員 全議員

広報常任委員会

委員長 佐久間千佳
副委員長 町野昌弘
委員 鈴木重行
鈴木淳士
砂田茂
小野寺正樹

議会運営委員会

委員長 佐藤栄市
副委員長 小林茂吉
委員 鈴木重行

議会選出監査委員

成田光雄

都市計画審議会委員

鈴木重行
小野寺正樹

土地開発公社理事

佐久間千佳
砂田茂

庄内広域行政組合議会議員

志田徳久



回復が望まれる 「ふるさと納税」

3月 定例会

第2回議会定例会は3月7日から15日までの会期で開会しました。

町長より「施政方針」、教育委員会・農業委員会から「行政方針」が示され、諸般報告2件の後、令和4年度の補正予算6件、令和5年度予算6件、条例8件、事件案件1件、人事案件2件、議員発議1件、議長発議1件、委員会発議4件が上程され可決されました。

一般質問は、5人の議員が町政全般について質問しました。

補正予算

一般会計

1億3458万3千円を減額し、55億820万3千円としました。

(主な質疑)

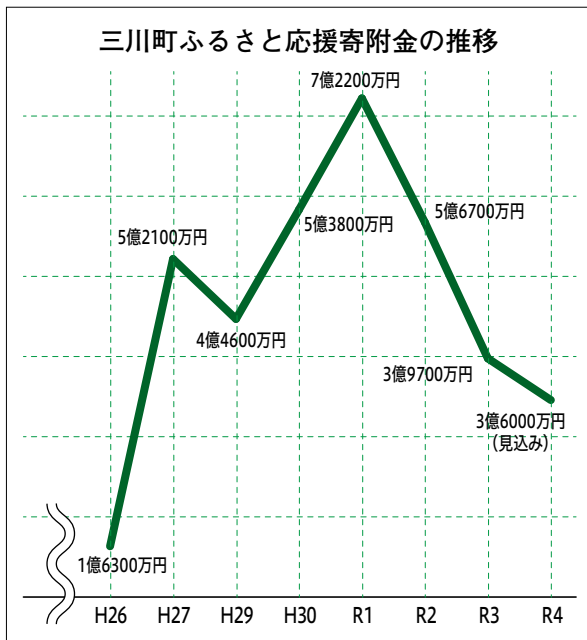
◎農林水産業費

ふるさと応援寄附金推進事業2086万8千円減額

問 ふるさと応援寄附金の減額要因は。また、返礼事業者の適正な選定は。

産業振興課長 メインで使用しているサイトが全国1位から4位へ下がっている事とサイト内で上位へ掲示できなくなっていることが要因と捉えています。

事業者選定では、返礼事業者への説明会や相談を受け適正な対応をしています。



◎農林水産業費
総額6622万7千円減額

問 農林水産業費における総体的な減額についての要因は。

産業振興課長 農業予算全体で不用額が出ている要因として、当初予算作成段階で農業者からの要望を踏まえ計上しましたが、要望者の「設備投資は難しい」との経営判断があり、予算執行に至りませんでした。



◎衛生費

新型コロナウイルス予防接種対策事業2072万9千円減額

問 新型コロナウイルスワクチンの接種状況は。

健康福祉課長 オミクロン株対応のワクチン接種は12歳以上が69・6%、従来型のワクチンで12歳以上は92・4%、5歳から11歳の小児の接種は56・4%です。

◎民生費

学童保育支援事業100万円増額

問 学童保育支援事業の増額要因は。

子育て支援主幹 令和5年4月から押切小学校で

学童保育所を開所するにあたり、準備に要する備品の整備費用です。

国民健康保険特別会計
2761万1千円を追加し、7億1893万8千円としました。

後期高齢者医療特別会計
232万円を追加し、9272万円としました。

介護保険特別会計
200万円を追加し、8億8221万2千円としました。

農業集落排水事業特別会計
615万3千円を減額し、1億7044万6千円としました。

下水道事業特別会計
2316万2千円を減額し、3億8366万9千円としました。

3 **みかわぎかい**

育英奨学資金 支援拡大へ

3月 定例会

条例改正等

「育英奨学資金貸付条例の一部を改正する条例の制定」

〔提案理由〕 奨学資金をより多くの学生に利用し、在の高等学校・高等専門学校・大学に、短大・専修学校（専門課程）・大

学院修士課程を追加するもの。

「個人情報保護法施行条例の設定」

〔提案理由〕 デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律による個人情報の保護に関する法律の一部改正にともなうもの。

「情報公開条例等の一部を改正する条例の設定」

〔提案理由〕 個人情報保護に関する法律の改正及び三川町議会の個人情報保護に関する条例の制定に伴い、不開示情報の適正な取扱い等について関係条例の整備をするため。

（主な質疑）

問 情報公開の開示決定等は、開示請求があった日から30日以内になければならないとあるが、その期間が必要な理由は、また、早めの対応は可能か。

総務課長 国の規定に合わせて設定しました。これまで通り速やかに対応します。

「子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例の制定」

〔提案理由〕 こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴うもの。

「特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定」

〔提案理由〕 こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行及び関係基準の一部改正に伴うもの。

「国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定」

〔提案理由〕 健康保険法施行令等の一部を改正する政令が施行されることに伴い、出産一時金を40万8千円から48万8千円に改めるもの。

「医療給付条例の一部を改正する条例の制定」

〔提案理由〕 子育て世帯の負担軽減を図るため、医療給付の対象を高校生までに拡大するもの。

育英奨学資金新旧対照表

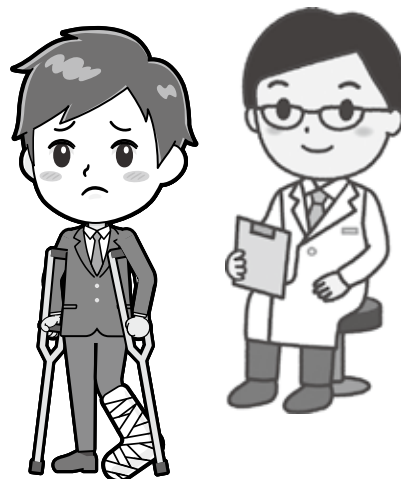
奨学資金の額

旧

- (1) 高等学校 月額 10,000 円以内
- (2) 高等専門学校 月額 15,000 円以内
- (3) 大学 月額 50,000 円以内

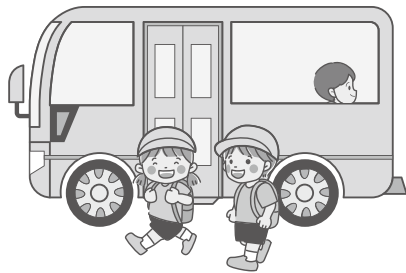
新

- (1) 高等学校 月額 10,000 円以内
- (2) 高等専門学校 月額 15,000 円以内
- (3) 短大・専修学校（専門課程） 月額 30,000 円以内
- (4) 大学・大学院修士課程 月額 50,000 円以内



通園バスへの ブザー設置条例制定

ブザー音



「家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の設定」
（提案理由） 児童福祉施設の設備及び運営に関する基準等の一部を改正する省令等の公布によるもの。（乳幼児送迎バスの降車見落としを防止する装置等の設置を規定するもの）
（主な質疑）
問 通園バスにブザー等の設置とのことですが、具体的に「誰が」「誰に」「何を伝える」ものか。

子育て支援主幹 運転手または添乗員がエンジンを切った際に後ろにあるスイッチを押さないとブザーが鳴る装置です。車内と外部にいる人に知らせるものです。
問 ブザーが聞こえなかった場合の対応は。
子育て支援主幹 現在、添乗員の見回りで取り残しの無いような対策をしています。それを補完するためのブザーと考えています。ブザーに頼らない安全管理を徹底していきたいと考えています。

人事案件

●教育委員会教育長の任命
 齋藤正志氏

●教育委員会委員の任命
 石川修一氏
 （酒田市中町）
 （押切中町）

3月定例会の議決状況

○は賛成、×は反対、議長は賛否に加わらない。

議案	議席番号	議員名								
		1	2	3	4	5	6	7	8	9
		小野寺正樹	佐藤栄市	小林茂吉	佐久間千佳	砂田茂	鈴木淳士	鈴木重行	成田光雄	町野昌弘
議第3号	令和4年度三川町一般会計補正予算（第10号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第4号	令和4年度三川町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第5号	令和4年度三川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第6号	令和4年度三川町介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第7号	令和4年度三川町農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第8号	令和4年度三川町下水道事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第9号	令和5年度三川町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第10号	令和5年度三川町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第11号	令和5年度三川町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第12号	令和5年度三川町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第13号	令和5年度三川町農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第14号	令和5年度三川町下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第15号	三川町個人情報保護法施行条例の設定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第16号	三川町情報公開条例等の一部を改正する条例の設定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第17号	三川町子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第18号	三川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第19号	三川町育英奨学資金貸付条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第20号	三川町医療給付条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第21号	三川町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の設定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第22号	三川町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第23号	鶴岡市との庄内南部定住自立圏形成協定の一部変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○

化 18歳まで延長

(前年度比5818万6000円増)

※各項目の主な事業を抜粋

未来に向かって継続し
発展するまち

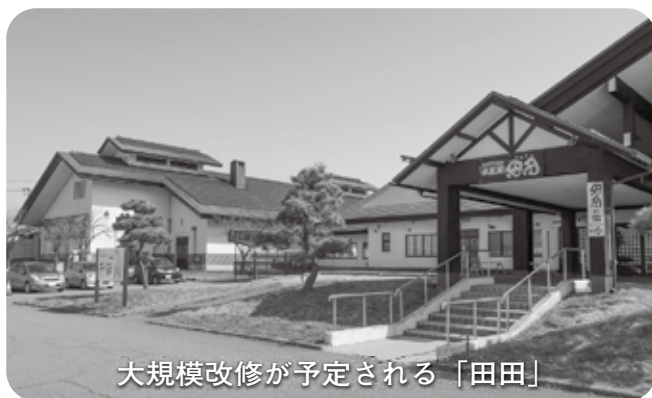
総額 4億9366万円

道路舗装事業 交通量が多く損傷が多い路線の舗装改修整備	8250万円
側溝整備事業	1000万円
橋梁長寿命化対策事業	3700万円
雨水対策推進事業	1億円
廃棄物処理事業	1億3125万円
地域づくり活動推進事業 地域活性化の推進	1076万円
電子自治体推進事業 行政事務の高度・複雑化への対応	5583万円
学校給食調理業務委託事業	2646万円

創造力にあふれ
豊かさを実感できるまち

総額 3億5915万円

土地改良施設整備事業 京田川防災減災事業による二丁排水機場（排水路改修を含む）の設置	1826万円
農用地保全活動推進事業 農業関連資源や農村環境を守る活動の支援	1億5821万円
中小企業等振興支援事業 プレミアム付き商品券の発行支援等による地域経済の安定化対策の推進	6256万円
「いろり火の里」推進事業 施設の大規模改修と機能強化に向けた施設設備の整備改修	6780万円



%は構成比 () 内は前年比較 千円以下は省略して表記

労働費 0.1%



423万円
(-4千円)

民生費 28.5%



14億3751万円
(↑4677万円)

議会費 1.4%



6871万円
(↑49万円)

農林水産業費 8.7%



4億3636万円
(-1億9413万円)

衛生費 4.8%



2億4226万円
(-2774万円)

総務費 11.8%



5億9678万円
(-7038万円)

(6) 9ページまとめ 鈴木 重行・鈴木 淳士

令和5年度 一般会計予算

医療費無償 50億3900万円

いつまでも健康で
安心して暮らせるまち
総額 4億6367万円

将来にわたって
活躍できる人を育むまち
総額 2億1357万円

健康増進事業 1582万円
健康診断、各種がん検診の実施や健康づくり相談による生活習慣の改善と疾病予防の推進

社会福祉法人等支援事業 6605万円
社会福祉法人、福祉団体活動の活発化

公共施設等長寿命化対策事業 1億6710万円
アスレなの花の大規模改修工事

子育て支援医療給付事業 3029万円
就学前から高校生までの医療費に係る一部負担金の全額助成

子育て支援センター事業 2106万円
遊び・交流の場の提供・育児の相談指導

出産祝金事業 1500万円
出産祝金の支給による経済的負担の軽減

学童保育支援事業 3070万円
利用料補助による保護者負担の軽減
学童保育の活動場所の提供、施設の維持

特別支援教育等推進事業 3937万円
特別な支援を要する児童・生徒に対する個別支援教育の推進



公債費 9.4%



4億7441万円
(↑3712万円)

消防費 4.6%



2億3254万円
(-587万円)

商工費 7.7%



3億8623万円
(-1782万円)

災害復旧費

2万5千円 (±0円)

予備費

1000万円 (±0円)

教育費 11.6%



5億8368万円
(↑1億5090万円)

土木費 11.2%



5億6623万円
(↑1億3885万円)



町野 昌弘 委員長

適環境 産業創出が基本

予算審査特別委員会を3月7日に設置し、委員長に町野昌弘委員、副委員長に鈴木淳士委員を選出しました。
3月10日、13日の2日間、令和5年度予算案を審査し、可決しました。

総務費

バスの置き去り防止策は

小野寺 正樹 委員

町営バス・スクールバス置き去り防止策としての整備は。

子育て 補助者が目で確認し一番後ろでボタンを押し、5分以内

で押さないと大きな音のブザーが鳴る仕組みです。

運行時間の見直しは

デマンドタクシーの運行時間変更は。

企画 5便から7便に増やしながら、運行

時間の変更をしてみました。今後とも利用者にアンケート調査を行いながら計画変更を行います。

民生費

シルバー人材センターのインボイス対策は

佐久間 千佳 委員

シルバー人材センターに係る補助

金の増額要因と、今年10月から始まるインボイス制度への支援の考えは。

健康 シルバー人材センターで働く事務員の賃金を段階的に引き上げ、他市町と合わせるための増額です。

インボイス制度への対応として、現在は補助等の考えはありませんが、今後、センターと情報交換、相談を踏まえて対応を一緒に検討していきたいと思えます。



障子張り講習会(シルバー人材センター)

衛生費

コロナワクチン接種全額公費負担

佐藤 栄市 委員

令和5年度に入り、新型コロナウイルス

の対応が変わるようですが、それでもワクチン予防接種は来年3月までは無料で行うことを国は決めたようです。その対応は。

健康 令和5年度の接種は全額公費負担で実施します。初回接種を完了し前回接種から3カ月以上経過した人で、65歳以上と基礎疾患があったり医療・介護施設に従事者等、感染リスクの高い人を対象に、5月から8月に実施する予定です。

9月から12月の秋開始では、前回接種から3カ月以上経過した人で、春夏で受けた人も含めて、5歳以上の全年代で一人1回の接種の機会が設けられる予定です。

ゴミ処理委託料の一部を負担金で支出は適切か

鈴木 淳士 委員

鶴岡市との廃棄物処理委託契約に

基づく予算の一部を、鶴岡市に誤解を招く危険性のある「負担金」に分割して計上した理由は。

総務 鶴岡市との廃棄物処理に係る事務

農林水産業費

鳥獣被害対策は

砂田 茂 委員

カラスやハクビシ

ン、白鳥などの鳥獣による農作物への被害対策は。

産業 山形大学や県から振興助言をもらいな

がら研究していますが有効な対策が見つからない状況です。対処方法として鳥獣被害対策花火を希望者に配布しています。



令和5年度
予算審査

アフターコロナ 子育て支援 健康づくり 快

産業振興課長 農業機械等の導入支援は農家へのアンケート等に基づいて予算計上しています。高齢化や規模拡大が落ち着いたことにより機械導入の計画が減少しているものと考えます。

問 資材・燃油の高騰は厳しさを増しています。農業振興費減額計上の要因は。
鈴木 重行委員 資材・燃油の高騰により農業経営は厳しさを増しています。農業振興費減額計上の要因は。

資材高騰時の予算減額要因は



農機具も高騰し経営に影響が...

5年度も園芸所得向上における支援に取り組みます。

商工費

プレミアム付き
商品券を発行予定

問 新型コロナウイルス対策として、これまで地域通貨「菜のca」の発行やスタンプカード方式、クーポンの配布など小売店業者支援策がとられてきましたが、来年度の計画は。
産業振興課長 アフターコロナにおける小売店業者支援策としてプレミアム付き商品券の発行を予定しています。

指定管理者への関与は

小林 茂吉委員

問 指定管理者である「みかわ振興公社」と町が締結している基本協定書第5条（指定管理料）、第6条（賃借料）に関する覚書の考えは。

町長 根本的には、指定管理料も含め、公社から入湯税を受けない事も精査し、今後の経営支援を進めていきます。

土木費

使いやすいトイレを

砂田 茂委員

問 高齢者には使用しにくいパルク赤川のトイレの整備は。

建設課長 現在の移動式トイレ2基に加え新たに1基を導入します。高さのあるトイレの使用を軽減するために踏み台と手すりの設置を考えています。

消防費

避難所の運営
マニュアルは

佐久間 千佳委員

問 各小学校にある防災備蓄品の表示と学校へ避難した場合の自主防災組織との運営マニュアルは。

総務課長 現在、小学校等での備品の表示はしていません。避難所を開場した後の運営は町と自主防災組織が一体となって行っていくますが、町としてのマニュアルはあるものの避難者側から見たマニュアルはないので、今後検討していきます。

教育費

放課後子ども教室
の対応は可能か

鈴木 淳士委員

問 放課後子ども教室推進事業予算は夏休み中の事業費と考えられるが、急遽、放課後児童対策として町内会公民館等で「放課後子ども教室」を開設した場合は、この予算による支援が可能か。

総務課長 実施主体などの状況により、財政措置が必要であるか判断します。



陸前高田市の「避難所運営マニュアル」

町政を問う

3月定例会

一般質問



一般質問とは…

町政に関して議員が質問を行い、新たな政策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

3月9日、5人の議員が以下の項目について質問しました。
●の内容を掲載しています。

砂田 茂 議員 (11ページ)

- 子育て世代の負担軽減は
- 新型コロナウイルス対策について
- 高齢者の健康維持について

佐久間 千佳 議員 (12ページ)

- デジタル化の推進と活用は

鈴木 重行 議員 (13ページ)

- 地域農業の持続について
- 読書活動の充実について
- 県立中高一貫校(致道館中学校)開校について

鈴木 淳士 議員 (14ページ)

- 三川町空家等対策計画に基づく対応策について
- 桜木地区住環境整備事業の見通しと開発計画について

小野寺 正樹 議員 (15ページ)

- なの花温泉「田田」の利用拡大について
- 三川町ふるさと応援寄附金の利用拡大と戦略について



議会ホームページは
こちらから(音声配信中)

(10) 15ページまとめ 砂田 茂・小野寺 正樹

学校給食費を無償に

教育長 これまで通り保護者負担を

問

教育の推進や子育て世代の経済的負担の軽減また少子化対策などを目的として、学校給食費を無償にする自治体が増えています。子育て支援策として学校給食費を無償にする考えは。

教育長

学校給食法第11条で「学校給食の実施に必要な施設設備、修繕費、人件費等は学校設置者が負担し、それ以外の経費は保護者負担とする」となっているため、給食費は保護者より負担してもらっています。全国の自治体の中には、少子化対策や物価高騰に伴う負担軽減策として無償化や軽減している



すなだ しのぶ 砂田 茂 議員

自治体はありますが、本町では様々な子育て支援を行って今後とも教育環境の変化に対応し安定した学習活動を支えていくための施策も必要になるので、学校給食費はこ

学校給食費無償化の状況

2023.3.8 現在

市町村名	助成対象	助成内容 (予算審議中含む)	備考 (予算審議中含む)
1 寒河江市	小学校、中学生	全額助成	2022年度実施
2 西川町	小学校、中学生	全額助成	2022年度実施
3 鮭川村	小学校、中学生	全額助成	2022年度実施
4 河北町	小学校、中学生	2023年度から全額助成へ	
5 中山町	小学校、中学生	2023年度から全額助成へ	5315万円
6 山辺町	小学校、中学生	2023年度から全額助成へ	6345万円
7 朝日町	小学校、中学生	2023年度から全額助成へ	2315万円
8 大江町	小学校、中学生	2023年度から全額助成へ	3015万円
9 尾花沢市	小学校、中学生	半額助成	第3子以降の子、全額助成
10 大石田町	小学校、中学生	2023年度から半額助成へ	1124万円 (23年度予算)
11 庄内町	小学校、中学生	半年間、全額助成へ (2023年度)	4007万円 (23年度予算)
12 東根市	小学校、中学生	一食当たり小学生10円、中学生25円助成	
13 新庄市	小学校、中学生	一食当たり小学生15円、中学生20円助成	第2子以降補助
14 真室川町	小学校、中学生	一食当たり25円助成	
15 長井市	小学校、中学生	一食当たり25円助成	15円増額し25円に(23年度予算)
16 白鷹町	小学校、中学生	一食当たり20円助成	
17 天童市		満18歳未満の小中学生のうち第3子以降の子	全額助成
18 村山市		満18歳未満の小中学生のうち第3子以降の子	全額助成
19 南陽市		満18歳未満の小中学生のうち第3子以降の子	所得要件あり(全額~4分の1助成)
20 鶴岡市		満18歳未満の小中学生のうち第3子以降の子	全額助成
21 高島町		満18歳未満の小中学生のうち第3子以降の子	全額助成 (23年度予算)

※35市町村中、21市町村(9市11町1村)で何らかの助成を実施または実施見込み(60.0%)。

問

これまで通り保護者から負担してもらいます。

学校給食費を無償とした自治体での

無償化に係る費用は年間予算の1%程度となっていますが、本町で実施するとした場合の割合は。

教育 全体の保護者負担は3600万円で

あり、一般会計予算に占める割合は0.7%です。

今後のマスク着用は

問

新型コロナウイルス感染症が確認されてから3年間定着してきたマスクの着用が、個人の判断となり戸惑いの声も聞かれます。マスク着用の具体的な方針は。

町長

高齢者等重点化リスクの高い方の感染を防ぐためマスク着用を推奨する場面は、医療機関の受診時や高齢者施設等への訪問時、混雑する電車やバスに乗るときなどで、学校等でも県教育委員会の方針や地域の

問

感染状況、行事の内容等を踏まえて対応します。感染症法上の位置づけが2類相当から季節性インフルエンザと同じ5類に移行されませんが、今後の各行事・催し等の行いかたは。

町長

これまでと同様に感染防止対策をしながらコロナ禍前の内容で行います。行事への参加者が混乱しないよう「広報みかわ」やホームページでお知らせします。



マスク着用は個人判断に

デジタル化の推進は

町長 計画通りに進捗



さくま ちよし 議員
佐久間 千佳

問 急速に進歩するデジタル技術のなかで、本町にとって有効なデジタル化の模索や対応策として掲げられている「三川町DX推進計画」の進捗状況は。

町長 デジタル化について町が取り組んで行く方針や6つの重点取組事項などをまとめた計画ですが、主なものとして、情報システムの標準化・共通化については、国が示す標準仕様に準拠したシステムへの移行をめざし、基幹系の20業務について業務工程の見直し作業を行っています。

問 行政手続きのオンライン化は。



町民にやさしいデジタル化を

町長 子育てや介護関係の27の手続きを対象にハード面の環境整備を行っています。

問 デジタル人材の育成は。

町長 地方公共団体情報システム機構や民間事業者との連携による

り、職員を対象とした各種研修を実施しています。

問 地域全体のデジタル化と格差解消策は。

町長 情報通信基盤のインフラ整備により、コロナ禍での対応としてテレワークや電子決済サービスなどが飛躍的に進展しており、今後デジタル化が中小企業や小売店等でも進展するように、国・県と連携し促進していきます。

町長 デジタル格差の課題は、機会を捉えながら相談や支援に取り組みます。

デジタル活用支援を



AIでのマッチングが広がる

問 農業人材の確保策として、人材マッチングアプリの活用支援は。

町長 農業バイトアプリ「デイワーク」に関して、関係機関・団体等に対し周知していきたいと考えています。

しかし、無料での運営が令和5年度までとなり、以降の支援は県や近隣市町の動向を注視し、対応したいと考えています。

問 婚活支援に関するアプリ活用支援は。

町長 町が参加している「やまがたハッピーサポートセンター」の事業で、令和5年1月から出会いの機会を提供するAIマッチングシステムの運用を開始しており、このシステムの活用による婚活支援を推進していきます。

若手農家の声には

町長 実施可能なものから取り組む

問 1月に行われた「みかわの農業のあり方」意見交換会での若手農家からの意見と、町の対応は。

町長

意見交換会においては、農業者23人、関係団体から9人が参加し、「儲かる農業」や「経営改善」「労働力確保」等をテーマに意見交換を行いました。

農業者からは、冬期間の所得の確保・人材確保支援・補助要件の緩和・圃場の拡大への支援・女性の新規就農者支援など多くの意見、要望が出されました。



すずき しげあき
鈴木 重行 議員



若手農家からは活発な意見が

町としては、現在、新農業所得構造改革推進事業や地域農業担い手育成推進事業等により、効率的で安定した強い経営体の育成を目指しています

が、若手農業者から出された意見や要望に対して実施可能なものから、既存の補助金や支援策の充実により、取り組みの強化に努めます。

問 人・農地プランの現状と課題は。

町長

本町においては15地区全てにおいてプランが作成されています。

毎年度の見直しを通じ、農業者がそれぞれの立場で話し合いを重ね、問題意識と課題を共有す

図書活動の充実を

ることが大切だと考えます。今後、より実現性のある将来方針の作成のため、取り組みを支援します。

問

成長期における読書活動の効果は。

教育長

幼少期から本と親しむことにより、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにするなどの効果が

問

あると言われています。本町では町内の子どもたちが、あらゆる機会と場所において、自主的に読書に親しみ、望ましい読書習慣を身に付けることができるよう取り組んでいます。

教育長

書籍を展示するスペースや業務の問題など、効率性や管理面から現時点においては困難であると考えます。



貸し出しを待つ絵本コーナー

空き家の寄附受入れは

町長 維持管理に支障なく、利活用が見込めるもの



すずき じゅんし 議員
鈴木 淳士

問 町内に長期間放置されている老朽危険空き家が存在していることから、法律改正等を契機に、早急に対応すべきでは。

建設環境課長 所有者のほか抵当権者等への説明も必要であることから、期限ありきの対応は困難であるものと考えます。

問 要件を充足している空き家について、積極的に寄附受入れする考えは。

副町長 空き家の寄附受入れについては、町の新たな財産が増えることとなるため、利活用が見込める場合としています。

問 寄附受入れした空き家・空き地の利活用を検討するのは町当局の責任であることから、特定の事業計画に限定せず、複数の利活用方法を検討すべきであったのでは。

建設環境課長 過去の事業については宅地分譲する計画でしたが、国庫補助申請の时期的制約もあり、最終的に利活用できないと判断しました。

問 町の開発計画に包摂した形で利活用が見込める可能性があるのでは。

町長 空き家の有効活用が最終的目的であり、寄附の申入れがあった場合は対策協議会で十分検討し、可能な限り有効活用を図りたい考えです。



空家対策の積極的な対応を



大規模宅地造成が本格化

桜木地区開発の具体策は

問 桜木地区における110区画もの宅地分譲に関する販売戦略は。

町長 第1工区37区画については6月を目途に町の広報紙やホームページにより情報提供すると共に、地元不動産業者やハウスメーカーに協力を求めながら周知を図る考えです。

問 この開発計画については「子育て世代にやさしい住宅団地

整備」を掲げていることから、町営住宅の建て替えや学習塾の誘致など、喫緊の課題となった放課後児童対策に関連する施設誘致も検討すべきです。

町長 町内3地区の人口バランスを考慮し桜木地区の住宅開発を計画したものであり、放課後児童対策については、状況により学童保育事業者と調整を図りたい考えです。

なの花温泉「田田」の利用拡大を

町長 ハード・ソフト両面で支援

問

なの花温泉「田田」は、利用者数もコロナ感染拡大前に戻りつつあるようで安心していただけますが、今だからこそその考え方が必要と考えます。温泉に関しては、

女性客のニーズを取り入れた施設が今後とも伸びていくものと思います。特に最近ではコンビニフィットネスといった施設の人気があるようです。そういった施設を「田田」に付属させ、温泉プラス健康作りに取り組むのでは。

町長

指定管理者であるみかわ振興公社では、各種割引サービス等



おの であら まさき
小野寺 正樹 議員

を実施しながら経営回復に努めてきたところであり、町としても支援を行ってきました。今後とも、町としてハード・ソフト両面において支援していきます。



心も体もリフレッシュ (川西町)

マーケティングに特化した職員を

問

他市町村のようにふるさと応援寄附金を専門的に行う部署の創設や、みかわ振興公社などに部署を設け、マーケティングに強い人を職員として雇用する考えは。

町長

近隣市町においては、ふるさと応援寄附金業務を、それぞれの市町の特性に合わせた専門部署を設置していることは承知しています

が、本町では、返礼品の提供事業者との直接的な意見交換を行うなど、産業振興課商工係内にふるさと応援推進部門を設置し、1つのチームとして一体となり、成果や課題を共有しながら業務にあたっています。

迅速・丁寧な対応に努め、体制としての専門性は一定の評価ができるものと考えられ、改めての専門部署の設置やマーケティングに精通した職員の雇用は考えています。



真剣に取り組む事業者説明会

English a Go Go

「人間性」を磨きながら

シリーズ55
町内の団体紹介

がんばっています

2013年に祖父母の田圃を引き継ぐため、夫の地元から娘と3人で実家のある三川町へ帰って参りました。

自分が子どもの頃は町内に習い事教室は少なく、鶴岡の方まで送ってもらわなければ通えず、習い事のハードルが高かったことから、開校は町の子ども達が気軽に通える三川町内だと決めておりま

2014年に実家の座敷で開校し、2021年より「ラコス」さんに教室を設けさせて頂き2022年に速読教室としても開講しております。

大切なお子様をお預かりするので、良い言葉、態度をもって生徒達に接したいと思い「アドラー心理学子ども勇気づけリーダー」の資格を取得しました。



指導も工夫して

今まで指導の主流だった叱咤激励方式ではなく、生徒達が出来たことを見逃さずに「認める」方法で自ら学びたい気持ちを引き出すように指導しております。その様に接することで、生徒達が「自己肯定感」を高く持ち、他を認め、自分を認める事が出来るようになりま

す。 正解のないとされる情報化社会で幸せを感じ、楽しく生きていける心を整え、勉強に向かう姿勢をつくります。AIには無い「人間性」を磨きます。

将来は今学習していることが自分の武器となり必要な場面で必要な力を発揮できる様、英語の技術だけでなく「読解力」「発言力」「協調性」なども意識したレッスンをしています。

英語・速読教室

English a Go Go

教師 磯部 智



(16ページまとめ 佐久間 千佳)

編集室

桜前線と共に出会いと別れの季節が過ぎるのを感じています。

世界的な物価高による影響は大きく、生活・産業への支援は喫緊の課題です。コロナ対応の緩和による経済・地域交流の活性化に期待するものの、未知のウイルスとは当分共存せざるを得ないものと考えています。

今後の広報、広聴活動では、より皆さんから参加して頂けるような広報誌づくりと、ポストコロナを意識した広聴活動が出来ればと考えています。

ご指導の程、宜しくお願いいたします。

佐久間 千佳

【表紙の写真】



「三川りっしょう子ども園」

(写真) 町野 昌弘

発行責任者 議会議長 志田 徳久
編集 広報常任委員会

委員長 佐久間千佳
副委員長 町野 昌弘
委員 鈴木 淳士
委員 砂田 茂
委員 小野寺正樹